

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和3年2月27日 9時~11時10分)

注 意 事 項

1. 試験問題は **80 問**で、解答時間は正味2時間10分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から4までの四つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) **問題 101** 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の **③** をマークすればよい。

答案用紙①の場合、101	101		答案用紙②の場合、
①	①		101 ① ② ③ ④
②	②		↓
③ → ●	●		101 ① ② ● ④
④	④		

- (2) 答案の作成には **HB** の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークする。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊘ (解答したことになる。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことになるから注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

専門基礎科目

問題 1 介護保険制度について正しいのはどれか。

1. 保険者は都道府県である。
2. ケアプランは介護認定審査会が作成する。
3. 住宅改修には利用できない。
4. 第1号被保険者は65歳以上である。

問題 2 医療法で定める医療施設について最も高度な医療を提供するのはどれか。

1. 診療所
2. 一般病院
3. 特定機能病院
4. 地域医療支援病院

問題 3 公費負担医療の対象でないのはどれか。

1. 労働災害による入院
2. 新感染症による入院
3. 生活保護者の医療扶助
4. 麻薬中毒患者の措置入院

問題 4 インフォームド・コンセントに関する医の倫理の国際的規範はどれか。

1. オタワ憲章
2. ヘルシンキ宣言
3. ジュネーブ宣言
4. ヒポクラテスの誓い

問題 5 感染症の予防について感染経路対策はどれか。

1. 消毒
2. 健康増進
3. 予防接種
4. マスクの使用

問題 6 疫学研究法について対象者に介入が行われるのはどれか。

1. 臨床試験
2. 横断研究
3. コホート研究
4. 症例対照研究

問題 7 「健康づくりのための身体活動基準 2013」について正しいのはどれか。

1. 運動習慣のある者は30歳代に最も多い。
2. 1日あたりの歩数は減少している。
3. 18～64歳は毎日30分歩くことが推奨されている。
4. 65歳以上は座ったままの運動が推奨されている。

問題 8 メタボリックシンドロームの診断基準項目に含まれるのはどれか。

1. 骨密度
2. 体重
3. 飲酒歴
4. 空腹時血糖

問題 9 化学的消毒薬の主な作用機転が蛋白質の凝固・変性でないのはどれか。

1. グルコン酸クロルヘキシジン
2. クレゾール
3. 逆性石けん
4. ホルマリン

問題 10 人口動態統計で示される指標はどれか。

1. 死産率
2. 受療率
3. 有訴者率
4. 通院者率

問題 11 あはき法で、あん摩マッサージ指圧師免許の積極的要件を満たしているのはどれか。

1. 居住地に住民登録を行っている。
2. あん摩マッサージ指圧師国家試験に合格した。
3. 覚醒剤中毒者でない。
4. 1年以内に懲役刑を受けていない。

問題 12 あはき法で、施術所を廃止した場合、必要な届け出の期間はどれか。

1. 廃止する日の7日前まで
2. 廃止する日の前日まで
3. 廃止した日から10日以内
4. 廃止した日から30日以内

問題 13 あはき法で、あん摩マッサージ指圧師が医師の同意を得ずに脱臼の患部に施術した際に処せられるのはどれか。

1. 10万円以下の罰金
2. 30万円以下の罰金
3. 50万円以下の罰金
4. 100万円以下の罰金

問題 14 あはき法で、あん摩マッサージ指圧師免許証の記載事項に変更が生じた場合、最初に行うべきことはどれか。

1. 名簿の訂正申請
2. 免許証の書換え交付申請
3. 免許証の再交付申請
4. 再免許の申請

問題 15 下肢の関節で関節唇を有するのはどれか。

1. 股関節
2. 膝関節
3. 脛腓関節
4. 距腿関節

問題 16 胸部の筋で呼気筋はどれか。

1. 肋骨挙筋
2. 外肋間筋
3. 内肋間筋
4. 横隔膜

問題 17 心臓の収縮運動のペースメーカーはどれか。

1. 洞房結節
2. プルキンエ線維
3. 房室結節
4. 房室束

問題 18 大動脈の最も近位から分枝するのはどれか。

1. 冠状動脈
2. 鎖骨下動脈
3. 総頸動脈
4. 腕頭動脈

問題 19 結腸について正しいのはどれか。

1. 腸絨毛がある。
2. 結腸ヒモは3本ある。
3. 腸腺は消化液を分泌する。
4. 腹膜垂は粘液を含む袋である。

問題 20 神経性下垂体から分泌されるホルモンはどれか。

1. カルシトニン
2. 成長ホルモン
3. パラソルモン
4. バソプレシン

問題 21 自律神経系について正しいのはどれか。

1. 自律神経の最初中枢は延髄にある。
2. 交感神経の中枢は脊髓前角にある。
3. 毛様体神経節は交感神経の中継点である。
4. 骨盤内臓神経は副交感性である。

問題 22 皮膚について正しいのはどれか。

1. 表皮は多列円柱上皮である。
2. 真皮は外胚葉由来である。
3. エクリン汗腺は全身に広く分布する。
4. 毛は真皮の変形したものである。

問題 23 心電図において心室興奮開始に対応するのはどれか。

1. P 波
2. QRS 群
3. T 波
4. U 波

問題 24 肝臓で生成されるのはどれか。

1. トリプシン
2. ガストリン
3. 胆汁
4. 葉酸

問題 25 糖質のエネルギー代謝過程として誤っているのはどれか。

1. 解糖系
2. クエン酸回路
3. β 酸化
4. 電子伝達系

問題 26 尿量を増やすのはどれか。

1. バソプレシン分泌の増加
2. アルドステロン分泌の増加
3. 血液量の減少
4. 血漿浸透圧の低下

問題 27 血圧を上昇させるのはどれか。

1. 心房性ナトリウム利尿ペプチド
2. ノルアドレナリン
3. オキシトシン
4. メラトニン

問題 28 脳神経と機能の組合せで正しいのはどれか。

1. 滑車神経 —— 毛様体筋収縮
2. 三叉神経 —— 涙液分泌
3. 舌咽神経 —— 唾液分泌
4. 迷走神経 —— 膀胱収縮

問題 29 白筋と比較した赤筋の特徴はどれか。

1. ミオグロビンが多く含まれる。
2. 収縮の持続性が低い。
3. 収縮速度が速い。
4. 疲労しやすい。

問題 30 錐体路系に含まれるのはどれか。

1. 大脳皮質運動野
2. 大脳基底核
3. 小 脳
4. 網様体

問題 31 局所性疾患はどれか。

1. 川崎病
2. 糖尿病
3. 白内障
4. アミロイドーシス

問題 32 先端巨大症の原因となるホルモンはどれか。

1. 成長ホルモン
2. 副腎皮質ホルモン
3. 卵胞刺激ホルモン
4. 甲状腺刺激ホルモン

問題 33 ビタミン K 欠乏が関与するのはどれか。

1. 口内炎
2. 骨軟化
3. 血管脆弱
4. 出血傾向

問題 34 細菌を貪食する細胞はどれか。

1. 好酸球
2. 好中球
3. 形質細胞
4. 肥満細胞

問題 35 I 型アレルギーに関与するのはどれか。

1. IgA
2. IgE
3. IgG
4. IgM

問題 36 腺癌の発生頻度が最も高いのはどれか。

1. 喉 頭
2. 食 道
3. 皮 膚
4. 子宮体部

問題 37 月経異常について正しいのはどれか。

1. 続発性無月経は思春期が過ぎても月経が発来しない状態である。
2. 原発性無月経の原因の一つに運動過多がある。
3. 過多月経は月経周期が短い状態である。
4. 月経困難症の原因の一つに子宮頸癌がある。

問題 38 下位運動ニューロン障害でみられるのはどれか。

1. 筋線維束れん縮
2. 筋緊張亢進
3. 深部反射亢進
4. 病的反射陽性

問題 39 血液検査所見で炎症の指標となるのはどれか。

1. CRP
2. LDH
3. γ -GTP
4. アルブミン

問題 40 脳波検査により診断可能な疾患はどれか。

1. 認知症
2. てんかん
3. 統合失調症
4. アスペルガー症候群

問題 41 呼吸器症状について正しいのはどれか。

1. 感冒は咳の原因となる。
2. 間質性肺炎では湿性咳嗽が特徴である。
3. 細菌性肺炎では白色痰が特徴である。
4. 気管支喘息では昼間の咳が特徴である。

問題 42 腹部症状について正しいのはどれか。

1. 便秘は嘔吐の原因にならない。
2. 急性虫垂炎は左季肋部痛が特徴である。
3. 腹痛の原因の一つに心筋梗塞がある。
4. 鮮血便の場合、上部消化管からの出血を疑う。

問題 43 ターミナルケアについて最も適切なのはどれか。

1. 病状の告知は行わない。
2. 苦痛緩和を最大限検討する。
3. 治療の選択は医師と患者の家族で行う。
4. 原疾患の根治を目標とする。

問題 44 頰脈がみられるのはどれか。

1. 脳圧亢進
2. 粘液水腫
3. 褐色細胞腫
4. パーキンソン病

問題 45 呼吸異常と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. 起坐呼吸 ————— うっ血性心不全
2. 下顎呼吸 ————— 気管支喘息
3. クスマウル大呼吸 ————— 過換気症候群
4. チェーン・ストークス呼吸 ——— 糖尿病性ケトアシドーシス

問題 46 浮腫の原因となるのはどれか。

1. 高尿酸血症
2. 肝硬変
3. 気管支喘息
4. 前立腺肥大症

問題 47 関節リウマチに特異性が高い検査はどれか。

1. CRP
2. 赤血球沈降速度
3. 抗核抗体
4. 抗 CCP 抗体

問題 48 骨粗鬆症について正しいのはどれか。

1. 骨と類骨の成分比では類骨の割合が多くなる。
2. 骨量は減少する。
3. 血液生化学検査では ALP が高値を示す。
4. 正常骨量は年齢により変化しない。

問題 49 骨肉腫について正しいのはどれか。

1. 好発部位は脊椎である。
2. 好発年齢は 40 歳代である。
3. 手術単独療法が中心である。
4. 最近の 5 年生存率は 60 % 以上である。

問題 50 変形性股関節症について正しいのはどれか。

1. 一次性が多い。
2. 男性に多い。
3. 発育性股関節形成不全は原因となる。
4. ペルテス病は原因とならない。

問題 51 ギラン・バレー症候群で正しいのはどれか。

1. 末梢神経障害である。
2. 呼吸筋麻痺はない。
3. 腱反射は亢進する。
4. 髄液蛋白質が低下する。

問題 52 脳塞栓について正しいのはどれか。

1. 緩徐に発症する。
2. 激しい頭痛を伴う。
3. 心房細動に合併する。
4. 高血圧はリスクファクターである。

問題 53 悪性リンパ腫について正しいのはどれか。

1. 無痛性のリンパ節腫脹がみられる。
2. 形質細胞が腫瘍化したものである。
3. 我が国ではホジキン病が多い。
4. 外科的切除が行われる。

問題 54 ネフローゼ症候群について正しいのはどれか。

1. 易感染性は伴わない。
2. 浮腫をきたす。
3. 尿蛋白は低値である。
4. 血中アルブミンは高値となる。

問題 55 腎盂腎炎について正しいのはどれか。

1. 心窩部痛を伴う。
2. 尿は黄色透明である。
3. 原因菌は大腸菌が多い。
4. 悪寒発熱はみられない。

問題 56 呼吸器感染症について正しいのはどれか。

1. 結核菌は空気感染を起こさない。
2. 我が国では菌の耐性化は問題となっていない。
3. 感冒の約60%はウイルス感染である。
4. 高齢者では肺炎球菌ワクチン接種が推奨されている。

問題 57 発疹で直径10～20 mm程度の限局性隆起性の皮膚変化はどれか。

1. 丘疹
2. 結節
3. 紅斑
4. 鱗屑

問題 58 うつ病の特徴的な症状でないのはどれか。

1. 記憶障害
2. 自殺企図
3. 焦 燥
4. 無価値観

問題 59 ウイルス感染症はどれか。

1. 梅 毒
2. デング熱
3. マラリア
4. ジフテリア

問題 60 大腸癌について正しいのはどれか。

1. 大部分は扁平上皮癌である。
2. 我が国では近年増加傾向にある。
3. 腫瘍マーカーとして血清 AFP を用いる。
4. ヘリコバクター・ピロリが関与している。

問題 61 急性胆嚢炎について正しいのはどれか。

1. 左季肋部に強い痛みを認める。
2. 高脂肪食を摂取すると起こりやすい。
3. 腹部超音波検査では胆嚢の萎縮を認める。
4. 若年者に多くみられる。

問題 62 肝硬変の所見はどれか。

1. カフェオレ斑
2. 手掌紅斑
3. 結節性紅斑
4. 蝶形紅斑

問題 63 ICF に関する組合せで正しいのはどれか。

1. 身体構造 —— 生活への関わり
2. 活 動 —— 肢体とその構成部分からなる解剖学的構造
3. 参 加 —— 人生場面への関わり
4. 環境因子 —— セルフケア

問題 64 回復期リハビリテーション病棟において在宅復帰を目指した退院準備で正しいのはどれか。

1. 福祉用具のレンタルを検討する。
2. 排尿にカテーテル留置を導入する。
3. ADL の介助量を下げの必要はない。
4. リハビリテーション治療の訓練強度を下げる。

問題 65 バーセル・インデックスの評価項目はどれか。

1. 記 憶
2. 入 浴
3. 社会的交流
4. コミュニケーション

問題 66 歩行補助具はどれか。

1. 多脚杖
2. 電動車椅子
3. 長下肢装具
4. 足底装具

問題 67 人体における側方からみた重心線の通る位置で正しいのはどれか。

1. 眉 間
2. 乳 頭
3. 大転子
4. アキレス腱附着部

問題 68 脳卒中片麻痺患者の歩行訓練で使用するのはどれか。

1. 頸椎装具
2. 対立装具
3. 下腿義足
4. 短下肢装具

問題 69 脊髄損傷で自律神経障害により生じる合併症はどれか。

1. 痙 縮
2. 褥 瘡
3. 異所性骨化
4. 起立性低血圧

問題 70 糖尿病性足部壊疽に対する切断術で最も多い切断高位はどれか。

1. 股関節離断
2. 大腿切断
3. 膝関節離断
4. 下腿切断

問題 71 脳性麻痺の病型による分類で最も多いのはどれか。

1. 緊張型
2. 痙直型
3. 失調型
4. アテトーゼ型

問題 72 腰痛症に対するリハビリテーションでよく用いられるのはどれか。

1. 促通法
2. 筋力増強訓練
3. 階段昇降訓練
4. 巧緻動作訓練

問題 73 大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後のリハビリテーションで正しいのはどれか。

1. ホットパックは行わない。
2. 階段昇降訓練は行わない。
3. 患肢の荷重は術後2か月まで行わない。
4. 術後早期は股関節の過度な屈曲は行わない。

問題 74 パーキンソン病の症候で正しいのはどれか。

1. 痙縮
2. 対麻痺
3. けいれん
4. 仮面様顔貌

次の文で示す症例について、問題 75、問題 76 の問いに答えよ。

「72 歳の女性。左片麻痺と意識障害で救急搬送された。頭部 MRI 検査で右中大脳動脈の脳梗塞と診断された。食事の際に毎回左側の食べ物が残る。」

問題 75 本患者の高次脳機能障害で考えられるのはどれか。

1. 注意障害
2. 記銘力障害
3. 遂行機能障害
4. 半側空間失認

問題 76 高次脳機能障害は改善し、自立歩行が可能となったが、軽度の左手指麻痺が残存している。この状態で行うリハビリテーションで最も適切なのはどれか。

1. 温熱療法
2. 巧緻動作訓練
3. 対立装具使用
4. 座位バランス訓練

次の文で示す症例について、問題 77、問題 78 の問いに答えよ。

「65 歳の女性。指圧を受けているときに左側胸部に強い痛みを感じた。帰宅後も痛みは続き、疼痛部位に一致して半円球状の膨隆がみられたため、病院の夜間外来を受診した。」

問題 77 考えられる疾患はどれか。

1. 狭心症
2. 肋骨骨折
3. 帯状疱疹
4. 逆流性食道炎

問題 78 半円球状の膨隆の原因として最も考えられるのはどれか。

1. 浮腫
2. 皮下出血
3. 皮下膿瘍
4. 血胸

次の文で示す症例について、問題 79、問題 80 の問いに答えよ。

「15 歳の男子。ラグビー練習中に転倒し左手関節橈背屈を強いられた。直後から手関節痛が強いため医療機関を受診した。」

問題 79 本症例でみられにくいのはどれか。

1. フォーク状変形
2. タバコ窩の圧痛
3. 血行障害
4. フローマン徴候陽性

問題 80 実施すべき画像検査で適切でないのはどれか。

1. 手関節 2 方向単純エックス線撮影
2. 手関節斜位単純エックス線撮影
3. 超音波断層検査
4. 骨シンチグラフィ

